



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
教育長 岩原 勝行
職務代理 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明
委員 吉田 一徳



弟子屈町教育委員会
〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

「就任にあたって」

教育長 岩原勝行

1月23日の第1回町議会臨時会で教育長選任同意を得て、2月6日付で教育長に就任いたしました、岩原です。よろしくお願い申し上げます。与えられた重責に身の引き締まる思いでいっぱいでございます。

本町職員として奉職した昭和53年4月以来、学校給食センター、学校教育係、産業課農政係、企画振興課広報統計係、保健課保健医療係、水道課管理係長、総務課財政係長、企画財政課財政係長、企画財政課長補佐、観光商工課長、農林課長、健康推進課長、教育委員会管理課長と行政職を約42年間務めさせていただきました。

教育行政の経験は、通算8年程度で未経験の分野も多くありますが、教育委員はじめ教職員も含め120名以上の教育関係職員の皆さんと一緒に、本町教育の振興発展に努力してまいりたいと考えております。

前任の小林教育長が4期15年間という長い間教育長を勤めてこられました。

長いからゆえに、自分自身も含めて小林教育長に甘えていたことも多々あると思います。

時代の変化、町民ニーズにより、仕事は増えることはあっても、減ることはない状況になっていると思います。

小林教育長の蒔いた種に実を付かせることはもちろんですが、教育長の交代を機に、見直すべきことは見直し、一人一人が子どもたちのため、町民のため、自分自身のために働き方、仕事の仕方を変えるチャンスととらえて業務にあたってほしいと、教育関係職員には申し上げたところです。

弟子屈町教育を取り巻く行政課題は多々あり、教職員の働き方改革の推進、新学習指導要領への対応、小規模学校の今後の在り方、特別支援教育の充実、高校の魅力化、中心市街地再構築構想における図書館やプールの整備、郷土資料の保管管理、アイヌ政策推進交付金を活用した資料館の整備、所管施設の整備改修等々、町長部局とも連携し、一步一步前進させてまいりたいと考えております。

また、教育を取り巻く環境は、日々変化しておりますが、子どもたちが生まれ育った地域に誇りを持って、将来この地域、社会を担う人材となるよう、町民みんなで育て、さらには、成人、高齢者の方々が生涯学習を通じ、生き生きと笑顔で生活できるよう町民みんなで支え合い、誰もが幸せに暮らし、誇りある町として発展していくための環境づくりに微力ではございますが、教育関係職員と一緒に最善を尽くしてまいりたいと考えております。

町民皆様のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます、就任にあたっての挨拶といたします。

※新型コロナウイルス感染症対策につきましても、臨時休校を含めた感染拡大防止策にご理解いただき感謝申し上げますと共に、今後も適切に対処して参りますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

次回リレーコラムは吉田委員です。





教育あっちこっち情報



「人生万事塞翁が馬」

教育委員 金井 秀明

新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない。春の高校野球選抜大会も中止となり、東京オリンピック開催も延期が決まった。教育現場も感染防止のため、学校休校や行事の中止、卒業式の縮小など、児童、生徒、ご家族の皆様にご迷惑をおかけしている。特に卒業式は友や先生との別れ、新しい門出を祝う大切な時である。式の縮小を聞いて、悔しく悲しい思いをしている子供たちも沢山いると思う。そんな中、この悔しさをバネに、今後も人間に牙をむくウイルスとの闘いや、感染症対策、災害などの危機管理を志す若者が出てくることを期待したい。そうすればこの新型コロナウイルス渦も無駄な試練ではなくなる。



『第73回川湯中学校卒業式』

教育委員 菅原 誓之

3月13日川湯中学校の卒業式に出席しました。新型コロナウイルスの影響により、町内各学校が休校措置の中の卒業式となりました。体育館に入場すると、出席者全員がマスク姿での光景が異様に思えましたが仕方ありません。ただ、川湯中学校の場合は在校生・保護者ともに出席できた事が良かった事かも知れませんが、式次第も時間的な問題から大幅に省略されましたが、卒業証書授与や送辞・答辞も例年通り行われました。最後には卒業生・在校生全員で卒業式歌を保護者や先生に向け、大きな声で心を込めて歌っていました。緊急事態な年となりましたが、卒業生にとっては、ある意味思い出深い卒業式となったでしょう。



川湯小学校の卒業式に参列しました

職務代理 榎本 悦子

3月19日は川湯小学校の卒業式でした。どの学校もそうですが、新型コロナウイルスの影響により例年とは違う卒業式でした。卒業生・先生方・保護者の方をはじめ式場の全員がマスク着用、在校生は参列せずその時間だけライブの様子が発信されるのだそうです。それでも卒業生が6名だけの為でしょうか、卒業証書はいつものように一人ずつでしたし、国歌と校歌はマスクのまま皆で歌うことができました。突然始まった休校の為、行われなかった「卒業生を送る会」のプログラムの中からはでしょうか、卒業生の器楽演奏や最後の蛍の光が流れる中、様々な思い出のシーンや各学年からの楽しいメッセージが流れ先生方の創意工夫が感じられました。いつものように愛情たっぷりの卒業式でした。



「同期の仲間が退職」

教育長 岩原勝行

3月5日、第1回定例議会の最終日、全ての議案審議終了後、3月末で退職する課長6名の挨拶がありました。今回退職する方々は、私の同期であり、40年余り一緒に行政に携わった仲間でした。各人が40年間の思い出を語ったのを見て、懐かしくもあり、年月の流れの速かったことを改めて実感させられました。昭和から平成、そして令和元年度まで、経済成長期、バブル崩壊、構造改革と言う名目の町財政が縮小した時代、さらに少子高齢化の時代と、めまぐるしい40年間ではなかったかと思えます。退職後は、それぞれ違う道に進みますが、最後に議場の演台で7人で集合写真を撮り、最後の思い出作りをしました。



弟小ララランド

教育委員 吉田一徳

2月21日、東京合唱協会の皆さんが弟小で歌声を披露してくださいました。学校の計らいで公開公演だったので生徒のみならず、保護者や地域の方々もプロの歌声を聴くことができました。児童用のプログラム構成だったので、子供達も最初から最後まで聞いたり一緒に歌ったりと、楽しんでいました。私も帰りの車中はなりきりパバロッチのトゥーランドットでした。



★★ 編集後記 ★★

教育長を4期15年務められた小林俊夫様が退任されました。長年の激務大変お疲れ様でした。という事で今月のリレーコラムは順番が違いますが、岩原勝行新教育長に執筆をお願いしました。

(菅原)